

海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト
2018

実績報告書

山王ひなた美術教室

公益財団日本財団
海と日本プロジェクト2018

海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクトについて

プロジェクトの意義

山王ひなた美術教室は、8月5日(日)～11月4日(日)にかけて、「海からみつめる子どもランドスケープ『ふくおか』」を開催しました。

この取り組みでは、子ども達の未来や、福岡のまちを“海と関わり合うまち”にするために、博多・壱岐・平戸を舞台に子ども達と一緒に美しい海を思いっきり遊び、暮らしを体験しました。このイベントは、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。

福岡市の子ども達は、ひとり親世帯・多子世帯・共働き世帯・多文化(外国籍)等多様な背景を持っています。そのような背景を持った多くの子どもたちには、「ふくおか」の文化・歴史・食が豊かな海によってもたらされていることに気付く機会が不足しています。本イベントで子ども達には、地域の人々が海と関わり合いながら生きていることを学び、その学びから福岡と海の強い結びつきを再発見してもらいました。そしてその「学んだこと」を美術教室の強みである模型製作で新しい「福岡のまちづくり」として昇華し、広く市民の方に見ていただく展覧会を開催することが出来ました。プロジェクトを機会に海と福岡のまちを子ども達と一緒に考える有意義な取り組みでした。

参加した子ども達へ

このプロジェクトは、「海のことを好きになれるまち」を、模型作りでていあんする試みでした。どんなものがあれば、海のことを好きになれたでしょうか？見ていてワクワク・ドキドキするもの、便利なもの、形がへんてこなもの。海とつながりがあるものならなんでもOKです。みんなの力とアイデアを出し合って、これからも自分たちの住んでいる「ふくおか」のまちを考えていきましょう。

今年は今も豊かな海との暮らしが息づいている「壱岐(いき)」と「平戸(ひらど)」に行ってみるプロジェクトを体験してもらいました。その目と体で確かめて、模型作りに活かすことが出来ました。これからも色んな海と一緒に体験し。ふくおかだけではなく、日本がたような海にかこまれていることに気付きましょう。

『海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」』

期間: 2018年8月5日(日)～11月4日(日)

対象: 福岡市在住の小学生及び中学生

主催: 山王ひなた美術教室

助成: 公益財団法人日本財団「海と日本プロジェクト」

協力: 一般社団法人ふくおかFUN 根獅子町集落機能再編協議会 みなとやゲストハウス 山彦舎 一般社団法人壱岐市観光連盟 壱岐市立一支国博物館 一般社団法人平戸観光協会

後援: 福岡市 壱岐市 平戸市 福岡市教育委員会 壱岐市教育委員会 平戸教育委員会 (社福)福岡市社会福祉協議会 (公財)福岡市文化振興財団 西日本新聞社 毎日新聞社 朝日新聞社 RKB KBC

＜博多＞海と子どもの学びプロジェクト

2018年8月5日(日)

福岡市中央区地行浜2-1-34 まもる一む福岡

＜壱岐＞海と子どもの学びプロジェクト

2018年8月18日(土)～8月19日(日)

長崎県壱岐市芦辺町とその周辺

＜平戸＞海と子どもの学びプロジェクト

2018年9月23日(日)～9月24日(月祝)

長崎県平戸市と根獅子町周辺

海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」成果展

2018年11月3日(土)～11月4日(日)

福岡県福岡市博多区山王1丁目5-17山王ひなた美術教室

事業ID:2017459970

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)

団体名:山王ひなた美術教室

1)オリジナルイベント開催概要

イベントタイトル	「博多プロジェクト」
イベントの目的・ねらい	<p>海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)は、福岡の子ども達が、自分たちの住んでいる福岡を「海のことが好きになれるまち」として模型作りで提案する試みです。どんなものがあれば、海のことが好きになれるかな?見ていてワクワク・ドキドキするもの、便利なもの、形がへんてこなもの。海とつながりがあるものならなんでもOKです。美術教室ならではの美術制作で海の新しい可能性を子どもたちと一緒に発見します。</p> <p>第一弾の「博多プロジェクトは、一般社団法人ふくおかFUNの協力で、「ふくおか」の海を知ることから始めます。ふくおかの海をよく知っているダイバーとして、美しいふくおかの海、そして環境を守らなくてはいけないふくおかの海をたのしくレクチャーやクイズで参加者も楽しく学ぶことが出来ました。</p> <p>今後は、今も豊かな海との暮らしが息づいている「壱岐(いき)」と「平戸(ひらど)」に行ってみるプロジェクトがあります。その目と体で確かめて、ランドスケープ模型作りに活かします。</p>
日程	2018年8月5日(土)
開催場所	福岡市中央区地行浜及びまもる一む福岡
参加人数	74名(小学生及び幼児、保護者及びスタッフ含)
主催	山王ひなた美術教室
共催	
協力	一般社団法人ふくおかFUN
告知方法	自団体ウェブサイトおよびフェイスブック・ツイッターによる告知。福岡市及び福岡市教育委員会後援による指定小学校へのリーフレット配布(4,000枚)。福岡市中央児童会館や市役所へのB2ポスター掲示。
イベント1内容	一般社団法人ふくおかFUNによる、「ふくおか」の海を知る・学ぶ・楽しむレクチャー 福岡市中央区地行浜にある、環境学習施設「まもる一む福岡」に子ども達が集まって、福岡の海を調査、保全をしているダイバーのふくおかFUN代表の大神弘太郎さんから、午前の部と午後の部に分かれて福岡の海について子供たちが楽しく学びながら深く知ることが出来るレクチャーを受けました。



事業ID:2017459970

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)

団体名:山王ひなた美術教室

イベント2 内容

まもる一む福岡施設見学とダイバー実体験

まもる一む福岡は、福岡の海や自然を学ぶ環境学習施設です。初めて来た子供たちは様々な海の環境を学ぶことが出来ました。学ぶだけではなく、楽しくクイズを行ったり、またふくおかFUNの普段使用するダイバーの機材を紹介して頂き、装備の重さに驚いていました。



イベント3 内容

地行浜で今日の気付きや海を表す絵画制作

レクチャーを受けた後は、実際に浜辺に移動して、今日学んだことと実際の海を子どもたち自身が重ね合わせて考えてみました。気付きや学びを絵画制作に表してみます。手を動かす制作を行うことによって子どもたちがふくおかの海を自分ごとに出来ました。



事業ID:2017459970

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)

団体名:山王ひなた美術教室



事業ID:2017459970

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)

団体名:山王ひなた美術教室

3)その他

参加者の声	<ul style="list-style-type: none">○福岡の海にカクレクマノミがいることに驚いた。温暖化は深刻です。○未来に繋げていく為に綺麗な海を子どもたちに残して行こうと思いました。○海の事、ゴミのことを色々と考えてくれたらと思う。○豪雨の後の海の様子が知ることが出来た。子ども達が海をよくするためのアイデアを考える時間があったのが良かった。○福岡の海は、外国よりも川から流入するゴミが多いと聞いて意外だと思いました。○ゴミが川や海に入るだけで魚が住みにくくなると知れて良かったです。○海の生き物クイズが楽しかったです。○絵が描けたことが良かったです。○海藻が海に必要なものだと分かりました。○タツノオトシゴが雄なのに子供を産むことを初めて知った。○まもる一む福岡が見学出来て良かった。○福岡の海はゴミが多いことを知ってびっくりした。○博多湾はヤフオクドーム800個分と知ってびっくりした。○ゴミをもっと減らしたい。○家族や友達に海の色んなことを教えたい。○魚がどんな風に困っているか分かりました。○まもる一む福岡が見れたので良かった。楽しかったから。○問題で知らないことばかりでこんなにもあるのだなあと思いました。○海が汚れていたら片付けに行ってみたいです。
配布資料	「博多プロジェクト」配布資料A4サイズ2ページ
メディア掲出	
その他特記事項	

事業ID:2017459970

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)

団体名:山王ひなた美術教室

1)オリジナルイベント開催概要

イベントタイトル	「壱岐プロジェクト」
イベントの目的・ねらい	<p>海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)は、福岡の子ども達が、自分たちの住んでいる福岡を「海のことを好きになれるまち」として模型作りで提案する試みです。どんなものがあれば、海のことを好きになれるかな？見ていてワクワク・ドキドキするもの、便利なもの、形がへんてこなもの。海とつながりがあるものならなんでもOKです。美術教室ならではの美術制作で海の新しい可能性を子どもたちと一緒に発見します。</p> <p>第二弾の「壱岐プロジェクト」は、舞台を玄界灘に浮かぶ壱岐に移して、福岡の子ども達が経験したことのないような透き通った海に大興奮！私達の暮らしの中にこんな海が身近にあることが、どんなに素晴らしい事か実体験しました。</p> <p>一泊二日の壱岐の海を経験し、その海と人々の関りを歴史や文化から学び、そして今の人々の変わりのない暮らしを、壱岐の人と一緒に過ごしてみました。この経験を自分たちの暮らしている福岡のまちづくりにどのように生かしていくのか？子ども達は、自分たちが暮らしている街だからこそ、もっとこんな海と関わり合う街になってほしいと気付けたはずです。</p> <p>この気付きを大切に、実際に子供たちの意見やアイデアを反映させた福岡のまちづくりを行います。それがランドスケープ「ふくおか」です。福岡の海と街に愛着が子ども達の中に生まれるプロジェクトです。</p>
日程	2018年8月18日(土),19日(日)の1泊2日 8月25日(土)のランドスケープ制作
開催場所	長崎県壱岐市芦辺町
参加人数	33名(小学生及び幼児、保護者及びスタッフ含)
主催	山王ひなた美術教室
共催	
協力	一般社団法人壱岐観光連盟 みなとやゲストハウス
告知方法	自団体ウェブサイトおよびフェイスブック・ツイッターによる告知。福岡市及び福岡市教育委員会後援による指定小学校へのリーフレット配布(4,000枚)。福岡市中央児童会館や市役所へのB2ポスター掲示。

事業ID:2017459970

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)

団体名:山王ひなた美術教室

イベント1 内容

吉崎市一支国博物館見学・レクチャー・サザエキャンドル作り
一支国博物館は、吉岐島が古代より朝鮮半島と日本の交易で栄えた島として、様々な遺跡や資料を発掘・整理している近代的な博物館です。その一支国博物館で、参加した子ども達は、古代の人たちが食べていたサザエやアワビの殻を見て、その大きさにびっくり！
沢山の遺物を鑑賞し、見やすく整理された古代の暮らしのジオラマをみんな楽しみました。そして体験ルームでは、現代のサザエの殻を使ってサザエキャンドル作りに挑戦しました。美術教室ならではの色使いと工夫されたデザインに、それぞれのテーブルから歓声が上がっていました。



イベント2 内容

ゲストハウスと釣りアクティビティ
子ども達が宿泊するところは、吉岐の古民家を手作りで改装した「みなとやゲストハウス」です。海を楽しむだけでなく、今その海と寄り添いながら暮らしている島の人と一緒に1泊します。子ども達は味わいある建物の趣やご主人の人の柄にすぐに慣れて一緒に島の子どもと遊びます。
昼過ぎからは、芦辺港の防波堤に移動して釣り体験を行いました。釣りレクチャーをしっかりと聞いた後は、チームに分かれてサビキ釣りに挑戦です。最初は小さな魚しか釣れませんでした、徐々に魚が大きくなってきて最後には20cmの味が連れました！みんな大歓声！人が暮らしているそばで、こんな大きな魚が釣れるのも海が身近なのだと実感させられました。



事業ID:2017459970

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)

団体名:山王ひなた美術教室0

イベント3
内容

大浜海水浴場で思いっきり海水浴
2日目みんな元気よく朝から準備を行って、海水浴場へ。大浜海水浴場は遠浅の海岸で、透き通った水質で、子ども達も早く海に入りたくってウズウズ。しっかり準備運動を行った後、元気良く海岸で遊びました。それにつられて保護者の方々も子ども達と一緒に海水浴を楽しみました。大人の方がこんなに海に喜んで頂き、また一緒に宿泊体験を行ったことで、子供たちみんなと一緒に遊んでいただきました。海を通じて素晴らしいコミュニケーションが取れました！



事業ID:2017459970

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)

団体名:山王ひなた美術教室

イベント4 内容

ランドスケープ模型制作

「香岐プロジェクト」体験を通じて発見できたこと、気付けたことを8月25日(土)に山王ひなた美術教室に集まって、ランドスケープ模型制作に表現しました。まだ子ども達の香岐への思いが覚めていない様子で、沢山の海にまつわる模型をつくりながら先生と一緒に、あの1泊2日の思い出を語り合いました。

福岡の街にこんな施設や、海にこんな生き物がいるととっても楽しくなるなど、ランドスケープ模型制作を通じて、アイデアが視覚化されたことで子ども達の海へのアイデアが止まりません！

子ども達も、次の「平戸プロジェクト」でまたどんな海への気付きがあるかこれからワクワクしていますね。



夏休み残り2週間 思い出づくり終盤に

8月も半ばが過ぎ、猛暑続きだった島には県外の子どもたちの歓声が響き、佐世保市の図書館では小学生が

英語に親しんだ。残された時間を目いっぱい楽しみつづ、思い出づくりも終盤を迎えている。



アジを釣り上げ喜ぶ子ども。島の風と太陽が笑顔を輝かせる

福岡市の小中学生や保護者ら約30人が18日、壱岐市を訪れ、都会とはまったく違う島の遊びを楽しんだ。19日までの2日間、自然豊かな島、壱岐を満喫する。博多区で造形絵画教室などを開く山王ひなた美術教室(成田章子代表)が、子どもたちに自然への関心を深めてもらおう、と企画。ジェットフォイルで1時間。意外と近いが、日頃の生活環境とは正反対の壱岐を選んだ。(田中辰也)

「支国博物館では、ろうを詰めたサザエの殻に、アクリル絵の具で赤や紫、黄など鮮やかな色を付け、カラフルな「サザエろうそく」に仕立てた。宿泊する壱岐市芦辺町のゲストハウスは海そば。サビキ仕掛けにも挑み、10〜20匹のアジが釣れると子どもたちは大喜び。早良区と企画。ジェットフォイルで1時間。意外と近いが、日頃の生活環境とは正反対の壱岐を選んだ。(田中辰也)

福岡の小中生 壱岐を満喫

アジ釣り／サザエの殻使ろうそく作り

事業ID:2017459970

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)

団体名:山王ひなた美術教室

3)その他

参加者の声	<ul style="list-style-type: none">○海がすごく楽しかった。○釣りが難しかったけどすごく楽しかった。○釣りをして海にはいろんな種類の魚がいることを知って良かったです。○鰯が釣れたことが良かった。○サザエのキャンドル作りが楽しかった。○博物館見学をして昔の建物や、遺跡が残っていたことに驚いた。○釣りと海水浴が楽しかった。○海水浴で波の力がすごくて力を分散させることを学んだ。○自然と触れ合えることが出来て良かった。もっと自然をきれいにしたいです。○海についての話がすごかった。○童心に戻って海の中でたわむれて改めて海遊びの楽しさを体感出来た。○子供が海で楽しく遊べていてよかった。人見知りだけど打ち解けていた。○スタッフの皆様の対応がとても良かったです。生まれて初めて海釣りを経験出来て感動しました。壱岐が大好きになりました。○海のすばらしさ・自然のすばらしさを改めて感じました。このすばらしさを壊すことなく大切にしなければ！○初めての海釣りを親子で体験出来てその楽しさを感じ、魅力に取りつかれてしまいました。海で大波の中何時間も海に包まれて本当に気持ちよかったです。○福岡に住んでいて海は近くにあるのに中々行くことが無く、なんとももったいないことをしていたんだと思いました。○壱岐の海のきれいさを友達などに伝えたい。また遊びに来たい。○ゲストハウスが又来たいと思わせる空間づくりをされていてよかった。○みなとやゲストハウスさんが素敵でした。いつもより時間がゆっくり流れて、子どもとも沢山手を繋げました。○壱岐の海が綺麗で帰りたくなくなりました。○釣りが出来たことで、通じて他の子ども達と自分の子どもがコミュニケーションできたこと。
配布資料	「壱岐プロジェクト」配布資料A4サイズ2ページ
メディア掲出	西日本新聞長崎県版8月19日(日)掲載 テレビ長崎KTN 8月27日(月)夕方のニュースとして放送 http://www.ktn.co.jp/news/20180827210227/ 8月27日より3日間
その他特記事項	

事業ID:2017459970

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)

団体名:山王ひなた美術教室

1)オリジナルイベント開催概要

イベントタイトル	「平戸プロジェクト」
イベントの目的・ねらい	<p>海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)は、福岡の子ども達が、自分たちの住んでいる福岡を「海のことが好きになれるまち」として模型作りで提案する試みです。どんなものがあれば、海のことが好きになれるかな？見ていてワクワク・ドキドキするもの、便利なもの、形がへんてこなもの。海とつながりがあるものならなんでもOKです。美術教室ならではの美術制作で海の新しい可能性を子どもたちと一緒に発見します。</p> <p>第三弾の「平戸プロジェクト」は、舞台を九州の西端にある平戸島。そして昔からキリシタンの信仰が深い根獅子町に一泊二日の体験プロジェクトを行いました。根獅子町は、透き通った清澄で遠浅の海が広がり、また山の中に点在する集落が、昔の面影を色濃く残していました。参加した子どもたちも保護者もそしてスタッフも福岡と全く違う趣の集落と海に、ふと敬虔な気持ちにさせてくれました。以前は私たちの住む福岡の街にも身近に暮らしと密接に結びついた海があったことを思い起こさせてくれました。</p> <p>一泊二日の平戸の海を経験し、その海と人々の関りを歴史や文化から学び、そして今の人々の変わりのない暮らしを、平戸根獅子町集落再編協議会の方々から沢山学びました。そして新しい海との関り合い方としてカヤック体験も楽しみました。この経験を自分たちの暮らしている福岡のまちづくりにどのように生かしていくのか？また第二弾の「壱岐プロジェクト」で感じたこと・気付いたことと何が違うかを子ども達は、言葉だけではなく、直接的に模型や街づくりをみんなで作り上げることで、これからの海との関りに気付いて行くことでしょう。</p> <p>この気付きを大切に、実際に子供たちの意見やアイデアを反映させた福岡のまちづくりを行います。それがランドスケープ「ふくおか」です。福岡の海と街に愛着が子ども達の中に生まれるプロジェクトです。</p>
日程	2018年9月23日(日),24日(月)の1泊2日 10月21日(日)のランドスケープ制作
開催場所	長崎県平戸市根獅子町
参加人数	34名(小学生及び幼児、保護者及びスタッフ含)
主催	山王ひなた美術教室
共催	
協力	根獅子町集落機能再編協議会 平戸生月B&G海洋センター
告知方法	自団体ウェブサイトおよびフェイスブック・ツイッターによる告知。福岡市及び福岡市教育委員会後援による指定小学校へのリーフレット配布(4,000枚)。福岡市中央児童会館や市役所へのB2ポスター掲示。

事業ID:2017459970

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)

団体名:山王ひなた美術教室

イベント1
内容

生月島「島の館」見学と島めぐり・根獅子町の人々と交流

平戸島について一番最初は、島全体が見渡せるすがすがしい岬でお昼ご飯を食べました。こんな開放的な場所で食事をするのはなかなか無い機会ですし、ご飯を食べた後はみんな思いっきり走ったり転んだり。

生月島「島の館」は、平戸島が古代より漁撈として捕鯨が栄えていたことを様々な資料の展示や保管品からひも解く資料館です。現代とは違う小規模で手作りの道具を駆使して昔の人々が如何にして大きなクジラを取っていたのか、大自然との格闘が分かる資料に子ども達は目が釘付けでした。

また平戸島全体が自然の奇観を多く有しており、根獅子町集落再編協議会の川上様がゲストスピーカーとしてバスに乗り込み、参加者の子ども達に分かりやすく島の暮らしと海との関りを解説して下さいました。

宿泊する根獅子町では、集落の人が心づくしの夕食を作して下さいました。豊ノ海の恵みを中心に、お刺身とバーベキューに子ども達は舌鼓を打っていました。



事業ID:2017459970

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)

団体名:山王ひなた美術教室

イベント2
内容

根獅子町公民館宿泊とシーカヤックアクティビティ

子ども達が宿泊するところは、根獅子町公民館です。みんな大広間で宿泊しました。寝る前には島の「おろくにんさま」の紙芝居を読んで、隠れキリシタンの物語を学ぶことが出来ました。皆早起きして朝食を食べたら、早速海に集合です。海にはすでに平戸生月B&G海洋センターの皆さんがシーカヤックを準備してくれました。みんなカヤックの体験は初めてです。海で遊ぶことと言えば、海水浴だったり、磯遊びだったり。最初はみんな怖がっていましたが、スタッフの優しいレクチャーと、持ち前の遊び心ですぐに上達。時間を忘れて大いに楽しみました。こんな海との遊び方があったなんて！というくらいの熱中ぶりで。先生達の方がへとへとなるくらいでした！



事業ID:2017459970

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)

団体名:山王ひなた美術教室



集合写真(根獅子町集落再編協議会とおろくにんさまたちと共に)

事業ID:2017459970

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)

団体名:山王ひなた美術教室

イベント3
内容

ランドスケープ模型制作

「平戸プロジェクト」体験を通じて発見できたこと、気付けたことを10月21日(日)に山王ひなた美術教室に集まって、ランドスケープ模型制作に表現しました。(本来は9月30日(日)に開催予定でしたが、台風接近の順延致しました。)沢山の海にまつわる模型をつくりながら先生と一緒に、あの1泊2日の思い出を語り合いました。

福岡の街にこんな施設や、海にこんな生き物がいるととっても楽しくなるなど、ランドスケープ模型制作を通じて、アイデアが視覚化されたことで子ども達の海へのアイデアが止まりません!

子ども達も、最後の「ランドスケープ模型発表会」でまたどんな海への気付きがあるかこれからワクワクしていますね。



シーカヤック 楽しいね 福岡の小中学生 平戸を訪問



シーカヤックを楽しむ子どもたち

＝平戸市、根獅子海水浴場

福岡市の山王ひなた美術教室(成田章子代表)に通う小中学生ら34人が23、24の両日、平戸市を訪れ、美しい海で海水浴を満喫した。都市圏の子どもにも海に親しんでもらおうと日本財団(東京)が費用を助成。平戸市根獅子町のまちづくり団体、根獅子集落機能再編

協議会(濱崎保久会長)が受け入れに協力した。子どもたちは23日、市生月町博物館・島の館で捕鯨の歴史を学習。翌日は根獅子海水浴場でシーカヤックに挑戦し、澄み切った海に歓声が響いた。福岡市立春住小3年、杉本昭人君(9)は「シーカヤックは初めて。上達できてうれしい」。同市立那珂南小6年、青山菜南さん(12)も「魚も新鮮で最高。また訪れたい」と笑顔を見せた。同教室は体験を基に、海のある町をデザインした都市計画の模型を作り、発表する予定。(佐藤武郎)

事業ID:2017459970

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)

団体名:山王ひなた美術教室

3)その他

参加者の声	<ul style="list-style-type: none">○海水浴前に海岸のゴミを拾う時間があって良かった。○子供たちがシーカヤックに乗って自分たちの力で漕いでいる姿が良かった。○シーカヤック初体験！子どもたちの逞しさ。地元の皆さんのあたたかさ。○子供たちが堂々と自己主張をして楽しんでいる様子が印象的でした。○スタッフの皆さんや地元の皆さんのあたたかさに感動しました。○親たちだけでは体験させることが難しいことも多々あるので是非今後も子ども達には様々な体験に参加させたいです。○初めての体験もあり、子どもたちが楽しく出来たと思います。○シーカヤックが楽しかった。○スタンディングボードで立ったり座ったりできる楽しさがあった。○シーカヤックが一人で出来た。○海の潮がみちることが発見できた。○スタンディングボードが出来て良かった。○カヌーを久しぶりにやったので良かったです。○カヌーを一人でやると難しかったと言う事が分かりました。○カヌーに慣れて来て早く漕ぐことが出来て良かった。○海の引き潮と満ち潮に驚きました。○シーカヤックが楽しかった。○シーカヤックが楽しかったので友達に教えたい。○カヤックに乗って楽しかった。○カヌーの漕ぎ方が分かって良かったです。○蟹が砂の中に棲んでいたことに驚きました。
配布資料 (資料データがある場合、レポートに添付して提出してください。)	「平戸プロジェクト」配布資料A4サイズ2ページ
メディア掲出	長崎長崎県版9月28日(金)掲載 RKB今日感テレビSunday 海さんぽ 11月18日放送分
その他特記事項	

事業ID:2017459970

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)

団体名:山王ひなた美術教室

1)オリジナルイベント開催概要

イベントタイトル	「海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」展示会」
イベントの目的・ねらい	<p>海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)は、福岡の子ども達が、自分たちの住んでいる福岡を「海のことが好きになれるまち」として模型作りで提案する試みです。どんなものがあれば、海のことが好きになれるかな？見ていてワクワク・ドキドキするもの、便利なもの、形がへんてこなもの。海とつながりがあるものならなんでもOKです。美術教室ならではの美術制作で海の新しい可能性を子どもたちと一緒に発見します。</p> <p>最後の企画となるランドスケープ展示会は、それぞれのプロジェクトを振り返りながら、改めて海との関りを考えてみる機会として設けました。これまでの「博多プロジェクト」「壱岐プロジェクト」「平戸プロジェクト」を通じて様々な地域の海を体験し、地域の方々とも笑顔で関わり合うことが出来ました。子どもたちにとってきっとこの体験そのものが、自分たちを取り巻く海の自然を考えるきっかけになりました。そんな体験のすべてを、子ども達のアイデアプランや記録写真を元に展示と模型制作も随時出来る様に会場を作り上げました。会場となる山王ひなた美術教室を大きなギャラリーに見立て開放し、展示物の鑑賞がスムーズに、参加しなかった方にもわかりやすいよう、会場づくりを行いました。また、当日用のWSコーナーも準備しました。1日目はプロジェクトに参加したうえで「まだつくり足りなかった！」と、思いの丈をぶつけにくる子が、2日目はそうして続々と増えていった成果物を見に来る家族、お友だちの方が訪れ、賑わいました。</p> <p>今回の事業を通じて、子ども達が積極的に模型作りに参加し、手を動かす楽しさと共に、プロジェクトで体験したことをしっかりと思い返して、福岡の海をより素晴らしいものにしようとする取り組みが出来ました。自ら考え、作り、提言する。今年の夏から秋にかけて行った、『海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」』は参加した子どもたちにとってかけがえのないプロジェクトとなりました。</p>
日程	2018年11月3日(土・祝)、4日(日)の2日間
開催場所	山王ひなた美術教室(福岡市博多区山王1-5-17)
参加人数	2日間で述べ104名(小学生及び幼児、保護者)
主催	山王ひなた美術教室
共催	
協力	
告知方法	自団体ウェブサイトおよびフェイスブック・ツイッターによる告知。福岡市及び福岡市教育委員会後援による指定小学校へのリーフレット配布(4,000枚)。福岡市中央児童会館や市役所へのB2ポスター掲示。

事業ID:2017459970

事業名:海から見つめる子どもランドスケープ「ふくおか」プロジェクト(海と日本2018)

団体名:山王ひなた美術教室

イベント1
内容

ランドスケープ展示

教室中央のテーブル(2360×1976mm)上に「ふくおか」の土台を準備し、各プロジェクト後に作った模型を設置しました。模型のアイデアシートをガーランドのように飾り、配置した模型と数字で紐づけ、鑑賞者が模型の機能やデザインのこだわり、詰め込んだ発想をキャプションとして楽しめるように工夫しました。自分の作った模型をみつけた本人や保護者の方からは歓声があがり、詳しい制作秘話や、ほかのお友だちとの関係性、大きさの比較や海との関りについて、話を深める場面があちらこちらで見受けられました。





展示全景